

三重県 四日市市（県産材を使用した施設整備）

○四日市市では、令和4年度において、農業センターの再整備の実施にあたり、建物の内装に県産材を使用した整備を行い、木材利用への理解の創出を図った。

○令和5年4月のリニューアルオープン後においては、来館者に対して、木材が持つ温かみのある落ち着いた雰囲気への創出を図る。

□ 事業内容

農業センターにおいて県産材を使用した施設整備

- ・ エントランスのロビー天井

【事業費】 4,975千円（うち譲与税4,975千円）

（譲与税は、新事務所のロビー天井部の木質化に活用）

【実績】 木材使用量 7.1㎡（うち県産材1.1㎡）

□ 取組の背景

・ エントランスのロビーの一部を木質化を図ることで、「木材のやさしさを秘めた力強さ」「古くからある素材としての木材の新しさ」「身近な素材としての木材」のイメージを利用して、農業センターのコンセプト「強い農業」「新しい農業」「生活の中にある農業」「儲かる農業」を来館者に伝えることを目指した。

□ 工夫・留意した点

- ・ 入館して最初に目に留まるロビーの天井に使用。
- ・ 不燃性薬液を木質内部まで浸透させた準不燃木羽目板を使用。

□ 取組の効果

- ・ エントランスが温かみのある落ち着いた雰囲気となり好評である。



（↑玄関正面）



（↑エントランス↓）



◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：36,274千円	②私有林人工林面積（※1）：1,012ha	
③林野率（※1）：13.7%	④人口（※2）：305,424人	⑤林業就業者数（※2）：18人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より